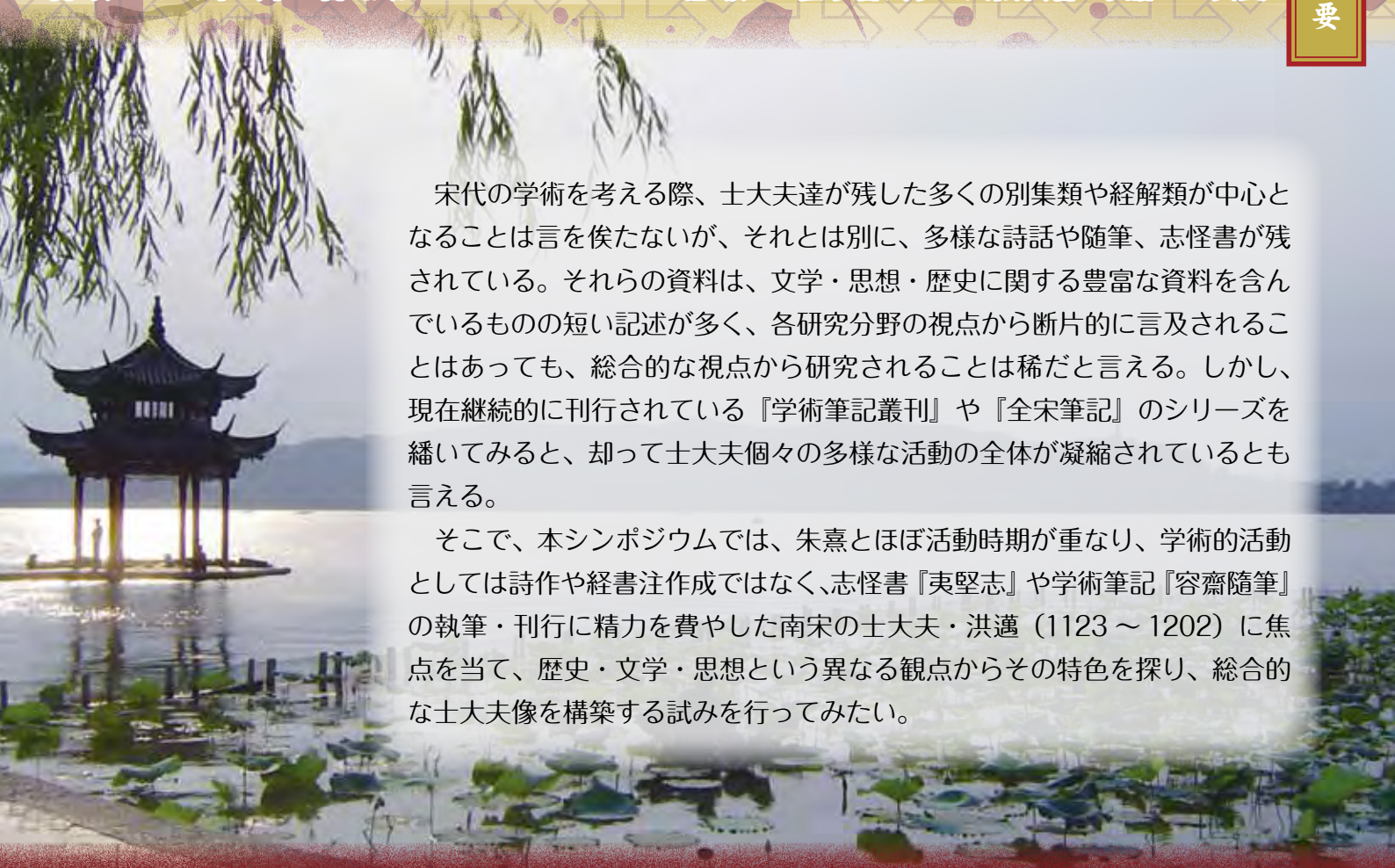


公開シンポジウム

「南宋の士大夫・洪邁の学術」

日時／2019年3月12日（火） 13:00～16:40 会場／二松學舎大学・九段校舎1号館201教室



宋代の学術を考える際、士大夫達が残した多くの別集類や経解類が中心となることは言を俟たないが、それとは別に、多様な詩話や随筆、志怪書が残されている。それらの資料は、文学・思想・歴史に関する豊富な資料を含んでいるものの短い記述が多く、各研究分野の視点から断片的に言及されることはあっても、総合的な視点から研究されることは稀だと言える。しかし、現在継続的に刊行されている『学術筆記叢刊』や『全宋筆記』のシリーズを繙いてみると、却って士大夫個々の多様な活動の全体が凝縮されているとも言える。

そこで、本シンポジウムでは、朱熹とほぼ活動時期が重なり、学術的活動としては詩作や経書注作成ではなく、志怪書『夷堅志』や学術筆記『容齋隨筆』の執筆・刊行に精力を費やした南宋の士大夫・洪邁（1123～1202）に焦点を当て、歴史・文学・思想という異なる観点からその特色を探り、総合的な士大夫像を構築する試みを行ってみたい。

program

13:00	開会挨拶
13:05	趣旨説明 田中正樹
13:10 —14:00	基調講演 「中国史研究者から見た洪邁と『夷堅志』」 日本大学教授 須江 隆
14:10 —14:50	研究発表 1 「洪邁と関帝信仰」 二松學舎大学教授 伊藤 晋太郎
14:55 —15:25	研究発表 2 「洪邁の学術—思想研究の観点から—」 二松學舎大学教授 田中 正樹
休憩	
15:40 —16:30	質疑応答・総合討論
16:30	閉会挨拶

○東京メトロ 東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分
※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

<お問い合わせ>

二松學舎大学
東アジア学術総合研究所
TEL 03-3261-3535